

関西国際空港は 開港30周年を迎えます！

平成6（1994）年9月4日に開港した関西国際空港は、今年で開港30周年を迎えます！
関西国際空港では、開港からの様々な出来事や空港を取り巻く環境の変化を振り返ることができる「関西国際空港開港記念サイト」をオープンしています。今回、記念サイトから30年の歴史の一部をご紹介します。



Thank you, Anniversary

30th | KIX

1994年（開港）

いよいよ開港へ、カウントダウン 高まる期待と熱気

関西国際空港への道が開かれ、新たな時代の幕開けを告げます。1994年3月21日、世界最長のトラス橋であるスカイゲートブリッジRが完成し、りんくうタウンと関西国際空港を結びました。6月にはJR西日本と南海電鉄が運行する空港連絡鉄道が開業し、関西エリアからのアクセスが向上しました。



わが国初の24時間眠らない空港の開港

1994年9月4日。工事着工から7年7ヵ月、泉州沖に西日本最大のゲートウェイとなる関西国際空港が開港します。人工島に建設された海上空港、旅客・航空貨物両方の24時間運用は日本初。それは関西人の希望と威信をかけた未来のエアポートでした。関西から世界へ、世界から関西へ。お客さまが旅立ち、降り立ちました。海に浮かぶ空港の雄姿に世界中から感嘆と称賛のエールが送られました。

2004年

ありがとう！開港10周年

「ありがとう！開港10周年」をキャッチフレーズにした開港10周年記念事業が、4月7日のオープニングセレモニーとともに華やかに開催。海外の就航地のPRイベント、ジャパン・キャンペーン、夏季イベント、クリスマスイベントなど1年間にわたって多彩な催しが展開されました。



← 2007年

第2滑走路供用開始 4,000m級の複数滑走路を備えた 世界標準の空港へ

2007年8月2日に2期島の第2滑走路の供用を開始し、日本初の世界標準完全24時間空港が誕生。コストの縮減や2期事業スキームの見直しなどの努力を行い、地元や経済界の支援のもと待望のオープンを迎えました。



← 2012年



日本初のLCCエアライン就航 空の旅がより身近に

海外ではすでに増えていたLCCエアラインが、ついに日本に誕生。その拠点として、同時期に開業した関西国際空港第2ターミナルビル（T2）が選ばれました。LCCは日本でもすぐに受け入れられ、航空需要の急拡大につながりました。

← 2023年

第1ターミナルビルリノベーション工事により 新国際線エリアがオープン！

2021年、開港以来初となる大規模リノベーション工事をスタートしました。段階に分けて施工することで、空港の運営を止めることなく工事を継続中。2022年10月には「新国内線エリア」、2023年12月には「新国際線出国エリア」がオープン。2025年春のグランドオープンでは、保安検査場のリニューアルなどにより、国際線キャパシティの拡張が実現します。



～これからのKIX～ コンパクトで快適な空港で 大阪・関西万博へお迎え

リノベーション工事は、2025年にグランドオープンを迎えた後も、国際線商業施設の拡張工事が続き、2026年夏に完了します。



関西国際空港 開港30周年記念サイトがオープン！！

関西国際空港は、1994年9月4日に世界初の完全人工島からなる海上空港として開港し、今月4日で開港30周年を迎えます。

これまで空港をご利用いただいたたくさんのお客さまや関係者のみなさまへ感謝の気持ちを込めて、開港からのさまざまな出来事や空港を取り巻く環境の変化を振り返っていただける記念サイトをオープンしました！

同サイト内では、懐かしの写真でこれまでの空港のあゆみを振り返るヒストリー年表や周年記念イベント、コラボレーション企画などの最新情報をご紹介しますので、ぜひチェックしてみてくださいね♪

【URL】

<https://www.kansai-airport.or.jp/30th/>（2025年3月31日まで公開）



©Kansai Airports SORAYAN

